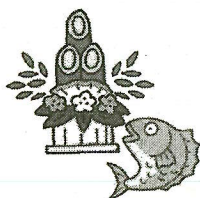


きゅうしよくだより

令和5年1月号(小学校)
昭島市学校給食共同調理場
TEL 042-541-8041



1月は、お正月に始まり、人日の節句、鏡開き、小正月など、日本ならではの行事がたくさんあります。このような季節ごとの行事や、特別な日にいただく料理を「行事食」といいます。それぞれの旬の食材を取り入れたものが多く、行事食には家族の幸せや健康を願う意味が込められていて、季節の風物詩の一つにもなっています。

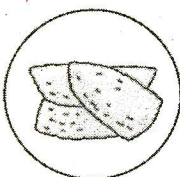


おせち料理のいわれ

正月に食べるおせち料理には、健康や長寿などの祈りが込められています。

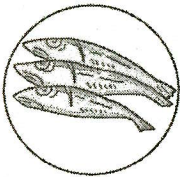
数の子

数の子は、にしの卵です。卵が多いことから、子孫繁栄の願いが込められています。



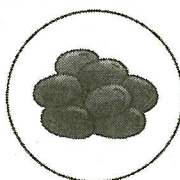
田づくり

田んぼにこいわしの肥料をまいたことから、田づくりと呼ばれ、豊作の願いがあります。



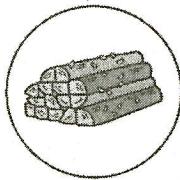
黒豆

まめは、まめに動き(勤勉)、まめに生きる(健康)という願いがあります。



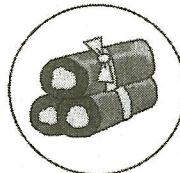
たたきごぼう

ごぼうは、根が地中深くに入ることや豊年や息災の願いが込められています。



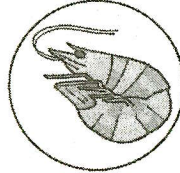
こぶ巻き

昔は「ひろめ」と呼ばれ祝儀に用いられ、また、「喜ぶ」の言葉にかけた縁起物です。



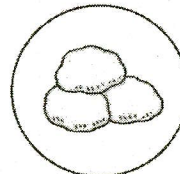
えび

えびのように、腰が曲がるまで長生きできるようにとの願いが込められています。



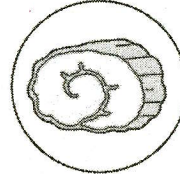
きんとん

きんとん(金団)には、財宝などの意味があります。金運への願いが込められています。



伊達巻き

巻物に似た形から文化、学問、教養を持つことを願ったといわれています。



全国学校給食週間について



1月24日～30日は「全国学校給食週間」です。「全国学校給食週間」は毎年、学校給食への理解や関心を深めることを目的に実施されています。日本の学校給食は、明治22年に山形県鶴岡市の小学校で始まりました。戦争による食料不足の影響で給食ができなくなりましたが、戦後、子どもたちの栄養状態の悪化が心配されたことから、アメリカのLARA(アジア救援公認団体)から給食物資が贈られ、学校給食が再開されました。その後、昭和29年に「学校給食法」が施行され、学校給食は、教育活動として実施されています。

「昭島市食育シンポジウム」の開催について

- 日時 令和5年1月17日(火) 午後2時30分～4時30分
- 会場 昭島市役所 1階 市民ホール
- テーマ 地場産物を活用した食育 ～地域との関わりを通して『食』を学ぶ～



- 基調講演 「江戸東京野菜には物語がある」
大竹 道茂 氏 江戸東京・伝統野菜研究会代表
- <第1部> 事例紹介
中神小学校 地産地消の取組～我々が第一号！ 拝島ねぎ栽培スタート～
光華小学校 つないでいこう！ 江戸東京野菜 光華かぶ株式会社
- <第2部> パネルディスカッション
コーディネーター：佐々木 輝雄 氏 日本獣医生命科学大学名誉教授
パネリスト：大竹 道茂 氏 光華小学校校長 中神小学校副校長
JA 東京みどり職員、市内農業生産者、栄養職員

※同時開催

<パネル展示> 学校における食育の取り組み 他

場所：昭島市役所 市民ロビー

期間：令和5年1月13日(金)～1月17日(火)

●定員 100人(申込順)

●申込 令和5年1月3日(火)から1月13日(金)までに

電子申請(右記QRコードから)、もしくは電話(学校給食課 TEL042-541-8041)へ

